

日本公園緑地協会とは

昭和 11 年 10 月 公園緑地協会設立
昭和 38 年 4 月 日本公園緑地協会に改称
昭和 42 年 10 月 社団法人に改組
平成 24 年 4 月 一般社団法人に移行、現在に至る

公園緑地協会は、昭和 11 年、当時の都市への人口集中とレクリエーション・衛生・防火・防空の必要性などの社会情勢を背景に任意法人として設立されました。

翌 12 年には機関誌「公園緑地」を創刊、5 月には公園緑地問題協議会を開催、8 月には公園緑地講習会を開催するなど、当初から公園緑地の調査や技術指導に積極的な活動を展開いたしました。

戦時中は、機関誌で都市の食糧自給、防空空地、屋外広告物など時代を反映した課題を扱いました。昭和 19 年には一時機関誌を休刊しましたが、戦後は早くも昭和 21 年に他団体と協力し、「都市農園連盟」、「体育施設計画協議会」を設立し関係機関への建議を行い、翌 22 年には機関誌を復刊させ、行政団体の協議会・講習会などの開催、資料の出版を行うなど活動を活発化させました。

昭和 38 年に「日本公園緑地協会」と改称。昭和 42 年に公園緑地の整備に関する運動をより拡大するため、社団法人として改組しました。これ以後、日本万国博覧会政府出展日本庭園の設計を受託するなど、公園緑地の整備に自ら関わるようになりました。昭和 40 年には「都市公園整備促進全国婦人大会」を開催しますが、この運動は建設省の第一次都市公園等整備五箇年計画策定（昭和 47 年）に大きな力となり、我が国の公園緑地行政の飛躍的發展につながって行きます。

その後、平成 20 年 12 月に施行された新公益法人制度に伴い、平成 23 年 7 月内閣総理大臣あて移行認可申請書を提出し、平成 24 年 3 月 21 日移行認可書が交付され、平成 24 年 4 月 1 日に移行登記を行い、一般社団法人として再出発いたしました。

この間、「都市公園整備促進全国婦人大会」は、「全国公園緑地整備促進大会」、「都市に緑と公園を」全国大会、「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会と名称をかえ、現在は 10 月の都市緑化月間行事の全国大会として、都市緑化や都市公園の整備促進や普及啓発に努めています。

また、昭和 45 年からは、我が国公園緑地行政のパイオニアである北村徳太郎氏の業績を記念した「北村賞」、平成 5 年からは協会会長・名誉会長であり造園分野の国際的地位の確立に貢献された佐藤昌氏の業績を記念した「佐藤国際交流賞」、同年からは公園緑地事業及び都市緑化事業等の実務に

多年従事して功労があった者を表彰する「公園緑地功労賞」を、さらに昭和 60 年からは都市公園の設計、施工、管理運営等の技術水準の向上を図る事を目的として「都市公園コンクール」を実施し、表彰を行っています。

さらに、社会資本の一定の整備量の確保等から公共施設は整備の時代からストックの活用の時代へと移り、平成 15 年 9 月には民間事業者が公の施設を管理することができる指定管理者制度が設けられました。この様な社会情勢の変化に伴い、インターネットクラウドを通じて地理情報システム機能により都市公園台帳と管理運営情報を一元管理する「公園管理情報マネジメントシステム」の供用を平成 22 年度から開始するとともに、平成 24 年度からは「公園管理運営士認定事業」を実施・認定機関として受託し試験等を実施しています。

この他、書籍の出版や講習会の開催など時代の変化に対応した公益的事業を幅広く実施しています。